

特集

地域包括ケア における 難病保健活動



2015年の難病法の施行以降、地域包括的に難病患者や家族を支援する体制や事業の構築が求められている。本特集では、その進展や現状を整理するとともに、各地の難病保健活動の取り組みを紹介し、地域包括ケアにおける難病保健活動の在り方や保健師の役割を考える。

- **難病施策の現状と展望** 難病保健活動に期待すること
- **難病療養者の理解と支援のポイント**
必要な支援を導く制度・サービスの活用と地域連携
- **難病の療養支援における保健所等保健師の活動・役割と
難病対策地域協議会の活用**
- **【名古屋市の取り組み】**
難病支援の個別支援ツール作成と難病地域診断に基づく
多職種連携の推進
- **【新潟市の取り組み】**
「新潟市難病患者支援マニュアル」の作成
保健師としての支援についての見直し
- **【京都府の取り組み】**
難病療養者を地域で支えていくための体制整備における
保健師の役割
- **難病保健活動のこれまでと、これからへの期待**